



十一・四全国労働者総決起集会報告

団結の素晴らしさを実感する十一月行動

昌一金属支部 A・S

「新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを!」「国鉄一〇四七名解雇撤回!」「外注化阻止・非正規職撤廃!」「反原発、反失業をたたかう国際統一行動を!」

十一・四全国労働者総決起集会が行われ、港合同は二〇名で参加しました。まず前段の青年労働者企画の中で、福島合同労組の青年労働者からのアピールとして「私たちは職場で労働組合を結成しました。団交などを進めていくうちに職場の雰囲気が悪くなり、なかには職場を辞めようか悩む者、あまり波風はたてたくないという者、団交などしなくていい!という者まででしたが、何度も団交などを繰り返していく

うちに同僚からの励ましや応援などもあり少しずつ職場環境の改善が目に見えてきました!団結とは本当に素晴らしい!こうした青年労働者の声をもっとあげ、私たち若い労働者が団結の力でより良い職場環境を作っていくために、この集会をもっと盛り上げていきましょう!」とのアピールがありました。本集会の冒頭、呼びかけ団体からの訴えとして、全日本建設運輸連帯労働組合関西生コン支部の高

英男副委員長(写真)より「まず初めに、今年三月に亡くなられた港合同・大和田事務局長と今年八月に亡くなられた辻岡執行委員への一分間の黙祷を全体で捧げていきたい」として黙祷が行われました。次に発言として「新自由主義による消費税増税、原発再稼働、オスプレイ配備など我々



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

労働者に不利になるこの情勢を団結の力ではね返す事がこの集会の課題なのでは。団結できる最大のチャンスである。各職場で組織拡大をはかり、一人一人が一つになって闘おう！」と発言され関西生コンは今年一四〇〇人の組織拡大を実現させた経緯についても発言されました。

次に連帯の挨拶として沖縄行動団から日本IBMBビジネスサービズ労組の富田晋委員長(写真)より発言。「今、沖縄は一〇月一日にアメリカ政府によるオスブレイ配備、女性、子供への住居侵入や暴行、数々の事件が相

次ぎ沖縄中が怒っています。私は自分の子供にこんな事を聞かれました。どうして危ないオスブレイがきたの? どうしてこの世の中は変わらないの? 本当に怖いよ、と言われこんな事を五歳の息子に言わせるこの世の中に憤りを感じています。私たちはこの沖縄で、新自由主義による攻撃をはね返



し、一日も早く基地撤去に向け一生懸命闘います! 基地いらない! 共に頑張ろう!」と発言されました。私もこの連帯挨拶には考えさせられるものがありました。幼い子供にも危機感を与えているこの国のやり方に怒りを覚えました。

次に反原発、反失業の国際連帯アピールとして全世界から、韓国、アメリカ、ドイツや他の国から労働者が沢山集結し、自国でそれぞれの職場に取り巻く環境、失業率の悪化などを発言されました。中でも韓国の民主労総ソウル地域本部本部長(写真)の発言で



「今、韓国では低賃金労働者が増え続けている。この様な社会問題は非正規職が増え続けるだけではなく、不平等な社会を作りあげると問題になっています」と発言され日本の原発問題にも触れ、人類を滅亡に追いやる原発建設など全世界で注目され反対の声が出ている事も発言されました。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!





集会では他に国鉄闘争労働運動の再建（写真）、福島、被災地を先頭とした反原発の闘い（写真）、闘いの報告と決意など盛りだくさんの発言が沢山ありました。



集会のまとめとして港合同・中村副委員長（写真）より発言があり団結ガンバローで集会は大成功に終わりました。



次に五八〇〇名でデモに出発しました。デモでのシュプレヒコールは東京の町に響き渡り町の人々に注目をあびていました。デモ途中では石を投げてきたり、罵声を飛ばしてデモ妨害をしてくる右翼団体もいましたが、最後まで何も問題なく貫徹できました。



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！